

天 平 雲

発行 奈良教育大学学生委員会
〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学学生支援課内
TEL. 0742-27-9130
FAX. 0742-27-9146
E-mail : service@nara-edu.ac.jp

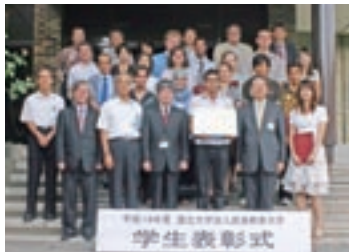
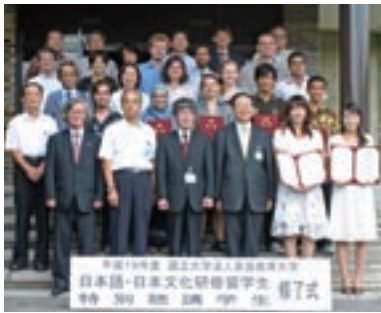
題字 奈良教育大学教授 福光 佐今

日研究生及び交換留学生の 修了式・学生表彰式・歓談会を開催

平成19年9月14日(金)に平成19年度日本語・日本文化研修留学生(11名)及び交換留学生(4名)の修了式を挙行了した。

併せて、昨年度から一年間の留学生活で種々の活動に積極的に参加し、顕著な成績を取った留学生が表彰されることになり、今年度も奈良地域留学生交流推進会議主催の「第7回外国人留学生スピーチ大会」において優秀賞の成績を取ったインドからの留学生(日研究生)のカブール ヒマンシュさんに、柳澤学長より表彰状(学長表彰特別賞)が授与された。

修了式及び表彰式終了後、記念撮影を行い、修了を祝福する懇談会が開催され、重松副学長(教育担当)の挨拶・乾杯の後、留学生と学長、事務局長、留学生担当教員、指導教員、チューター等が親睦と交流を深め、淡野副学長(国際交流・地域連携担当)の締めの挨拶で、修了を祝福した。



学生企画活動支援事業「身近な自然科学体験教室」 「第3回京終☆ビバ!!」が開催されました。



●身近な自然科学体験教室

9月の22、23日に、小学校4、5、6年生を対象とした「身近な自然科学体験教室」を行いました。参加した32名の生徒さんたちは、樹脂封入、ナイロンの合成、スライム作り、プラスチックに関する学習など、みんな一生懸命に取り組みました。

記事：前田久三代(大学院理科教育専攻2回生)

●第3回京終☆ビバ!!

10月6日に京終駅前済美ふれあい会館で行われた「第3回京終☆ビバ!!」は延べ200人もの参加者を迎えました。手作りの真っ白な駅舎に子どもたちが思い思いの絵を描いて作る「ゆめのえき」、紙を切り貼りして電車を作る「鉄道クラフト」、昔ながらの白と杵で作る「もちつき」などを通じて地域住民との交流を深めました。

記事：村井ひとみ(環境教育コース4回生)



留学体験記

本学では、海外の大学と大学間学生交流協定に基づいて、それぞれの大学に一年以内の留学ができます。留学中の在籍期間も修学年限に通算されますので、留年せずに修業年限内の卒業も可能になります。また、協定校で修得した単位が奈良教育大学での修得単位と認められる単位認定制度もあります。なお、大学間学生交流協定により、派遣期間中も奈良教育大学における学費を納付することによって、留学先大学の検定料、入学科及び授業料は免除になります。

ハイデルベルク大学(ドイツ)



(筆者：前列左から3番目)

私はドイツ・ハイデルベルクで11ヶ月間の留学生活を送りました。言葉や文化が全く違う国での生活は予想以上に大変でした。けれどもドイツで出会った友人たちと、時にはぶつかり合い支え合いながら、本当に充実した11ヶ月を過ごすことが出来ました。

留学を通し、世界各国に友達ができ、異文化理解を直接自分の肌で感じ学ぶことが出来ました。

また、ドイツでは英語もよく使われており、ドイツ語のみならず英語も同時に学べたことは、将来英語教師を目指す私にとってとても貴重な経験になりました。

語学を学ぶこと、専門分野を学ぶこと、異文化理解を深めることなどの点においても、留学は自分を成長させるための大きな機会になることでしょう。

記事：島岡真弓(生涯学習コース4回生)

嶺南大学校(韓国)



(筆者：一番左)

私は2006年9月から2007年6月までの10ヶ月間、韓国の第三都市テグにある嶺南大学校に留学しました。ソウルや釜山と違って日本人がまったくといっていませんでした。交換留学生は私を含めて2人でした。最初は日本人

が少なく、大変なことも多かったですが、韓国語の実力に関しては想像以上に伸びました。ソウルや釜山に留学している人は日本人とばかりかたまってしまっていて韓国人や他の外国人の友達ができないという話をききます。私は100人以上の韓国人の友達ができ、寮に住んでいた中国、ベトナム、フランスなど様々な国籍の友達もたくさんできました。この留学経験は私の人生に大きな影響を与え、一生忘れることのできない素晴らしい思い出にもなりました。国境を越えて、親友と呼べる仲間ができたことがなにより宝です。

記事：廣田江利子(教育発達基礎コース4回生)